

Zähl Elektronik-Tontechnik

ツァール・エレクトロニク・トーンテクニク



AM1 Analog Mixing Console

ドイツ・ケルンを拠点にするアナログ・コンソール/アウトボードブランド。

数多くのカスタム・ビルド・コンソールや放送機器を設計・製作し、30年以上のキャリアを持つマイケル・ツァール氏によって設立。

マイケル・ツァール氏は「クラウト・ロック」の代名詞的人物であり、1970年代の最重要音楽プロデューサーの一人コニー・ブランクのスタジオ「コニー・スタジオ」のテクニカル・エンジニアとしてキャリアをスタートさせました。

コニー・スタジオではカスタムのオリジナル・コンソールの設計を手掛け、独立後もドイツを中心に数多くのレコーディングの現場にカスタム・ビルド・コンソールを提供してきました。

ベルリンの音楽プロデューサーでミニマルテクノの第一人者であるマーク・アーネストス氏との共同開発でアナログ・ミキシング・コンソール **AM1** を開発。

モノ・チャンネル/ステレオ・チャンネルのモジュール・システムでスモール・フォーマットから48チャンネルのラージ・フォーマットまで対応するライン・コンソールは、現在の音楽制作のワークフローに適した機能とデザインによって、発表から数年でドイツを中心に多くのミュージシャンのスタジオ、プロジェクト・スタジオに導入されています。

徹底したローノイズ設計で音質は極めてクリーン、ヴィンテージのアナログ・コンソールとは一線を画す現代の音楽制作のための最新鋭のアナログ・ミュージック・ミキシング・コンソールが **AM1** です。

その **AM1** のEQ部分を500シリーズ・モジュール化したものが **EQ1**、マスター・セクション部分を500シリーズ・モジュール化したものが **IM1** です。

Jo. Zähl
Zähl

Zähl Elektronik-Tontechnik



EQ1 Stereo Equalizer / **IM1** M/S Insert Master

500-Series Format Modules

OTARITEC

オタリテック株式会社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16

TEL : 03-6457-6021

<http://www.otaritec.co.jp/products/zaehl/>

EQ1 Stereo Equalizer from Legendary Zähl EQ

4 バンド・ステレオ・イコライザー 500 シリーズ・モジュール



コニー・スタジオのオリジナル・コンソールを皮切りに 1970 年代からドイツを中心に数多くのレコーディングの現場にカスタム・ビルド・コンソールを提供してきたマイケル・ツァール氏。コンソールに搭載された同氏デザインの EQ はつねに高い評価を得、現在では “Legendary Zähl EQ” と評されています。

Zähl AM1 アナログ・コンソールのイコライザーをステレオ・イコライザーとして API 500 フォーマットのモジュール化したものが EQ1 です。

BELL/SHELF 付きの HI と LO、Q コントロール付きの MID、LO MID は異なる回路と音質でユーザーに自由度の高いイコライジングを提供。MID の周波数範囲は HI レンジに切り替えて、HI の周波数範囲は HI MID バンドにも適用できます。これは LO と LO MID についても同様で、かつてない自由度の高いイコライジングを可能にします。

- 各バンドの個別オン/オフ・スイッチ
- EQ ゲイン可変幅を ± 5 dB または ± 15 dB から選択可能。マスタリングなど微細な調節を行う場合は ± 5 dB、ダイナミックに音源のサウンドを作る場合は ± 15 dB にするなど様々なアプリケーションに対応。
- インプット/アウトプット・ゲインを選択可能。さらに可変幅を ± 5 dB または ± 15 dB から選択可能
- HI MID を通常の 3 倍の周波数範囲に切り替え可能。HI レンジのコントロールが可能
- LO MID を通常の 3 分の 1 の周波数範囲に切り替え可能。LO レンジのコントロールが可能
- 独自のスイープ・カーブで音楽的な要素をもたらす LO CUT
- ミキシング/マスタリング、ボカール、楽器など様々なアプリケーションに対応できるステレオ設計

- 音楽的なサウンド・デザインが容易にできる直感的でユーザーフレンドリーなレイアウト
- 最高級品質の部品で組まれたローノイズかつ低歪でクリアな音質
- マイクロプロセッサー、クロック・パルスを使用せずシーケンシャルなロジックのみで組み上げた回路構成
- スイッチング・パワー回路を使用せず、モジュール毎に個別安定化電源を搭載
- API 500 モジュール・シリーズの仕様に完全準拠、2 スロットを占有、250 mA 駆動

Specifications

入力	回路	電子バランス式、トランス的挙動（ホット/コールドのいずれかをアースに接続可能）
	インピーダンス	> 30 k Ω
	最大レベル	> +26 dBu
	基準レベル	+6 dBu / +4 dBu
出力	回路	電子バランス式、トランス的挙動（ホット/コールドのいずれかをアースに接続可能）
	インピーダンス	50 Ω
	最大レベル	> +26 dBu
	基準レベル	+6 dBu / +4 dBu
電源	DC 電圧	± 15 ~ 17V（ノイズのない安定化 DC 電源より給電）
	DC 電流	< 250 mA（スロット毎に最大 125 mA）
形状・機構	フォーマット	API 500 モジュール・シリーズの仕様に完全準拠
	占有スロット数	2 スロット

仕様、外観は予告なく変更されることがあります。

IM1 M/S Insert Master featuring Mid/Side Coverion & Stereo Base Control

M/S インサート・マスター 500 シリーズ・モジュール



Zähl のアナログ・ミキシング・コンソール AM1 は卓越した音質だけではなく精巧な機能も高く評価されています。

その AM1 のインサート・ステージとステレオ・ステージのエッセンスを抽出し、ユニークなスタンドアローン・ユニットとして API 500 モジュール化したものが IM1 です。

IM1 は他のアナログ機器との組み合わせでハイエンド・アナログ信号経路をセットアップするために設計されています。

■ 充実のインサート・セクション

- ± 10 dB のインプットとアウトプットのゲイン、L/R パンを装備。
- SEND BOOST ノブ、DRY/WET レシオ・ノブ、個別 I/O モニタリング、インサート・リターンのインピーダンス選択スイッチなど、IM1 はハードウェア・レベルでのインサートに必要なものをすべて搭載。

■ MID/SIDE コントロール

- IM1 最大の特長はソースの MID/SIDE 成分を抽出して個別にインサート出力することができる機能です。MID/SIDE に別々のプロセッサーをかけるというエフェクト処理をアナログ・デバイスで実現可能です。
- MID/SIDE のコントロールは STEREO BASE 機能で行います。MONO ~ DIFF までを連続可変で調整でき、MID を固定したままコントロールも可能。

■ 妥協のないオーディオ・クオリティ

- EQ1 と同様にマイクロプロセッサー、クロック・パルスを使用せず、最高級品質のパーツを使用し、クリアでローノイズな音質を実現。電源部についてもスイッチング・パワー回路を使用せず、モジュール毎に個別安定化電源を搭載しています。
- API 500 モジュール・シリーズの仕様に完全準拠、2 スロットを占有、250 mA 駆動。

接続方法：IM1 を使用するには本体に同梱された 1 スロット分の専用 SEND/RETURN 入出力が搭載されたブレイクアウト・パネルを 500 シリーズ・ラックに搭載する必要があります。IM1 には本体 2 スロットとブレイクアウト・パネル 1 スロットの計 3 スロット分が必要です。また、本体とブレイクアウト・パネルは、同梱されている専用ケーブルでユーザー自身が接続する必要があります。

Specifications

入力	回路	電子バランス式、トランス的挙動（ホット/コールドのいずれかをアースに接続可能）
	インピーダンス	> 20 k Ω
	最大レベル	> +26 dBu
	基準レベル	+6 dBu / +4 dBu
出力	回路	電子バランス式、トランス的挙動（ホット/コールドのいずれかをアースに接続可能）
	インピーダンス	50 Ω
	最大レベル	> +26 dBu
	基準レベル	+6 dBu / +4 dBu
電源	DC 電圧	± 15 ~ 17V（ノイズのない安定化 DC 電源より給電、LDO を内蔵）
	DC 電流	< 250 mA（スロット毎に最大 125 mA）・均等な電流正負レール
形状・機構	フォーマット	API 500 モジュール・シリーズの仕様に完全準拠
	占有スロット数	3 スロット（本体に 2 スロット＋ブレイクアウト・パネルに 1 スロット）

仕様、外観は予告なく変更されることがあります。